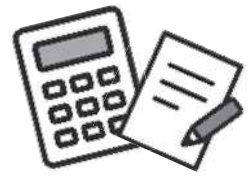




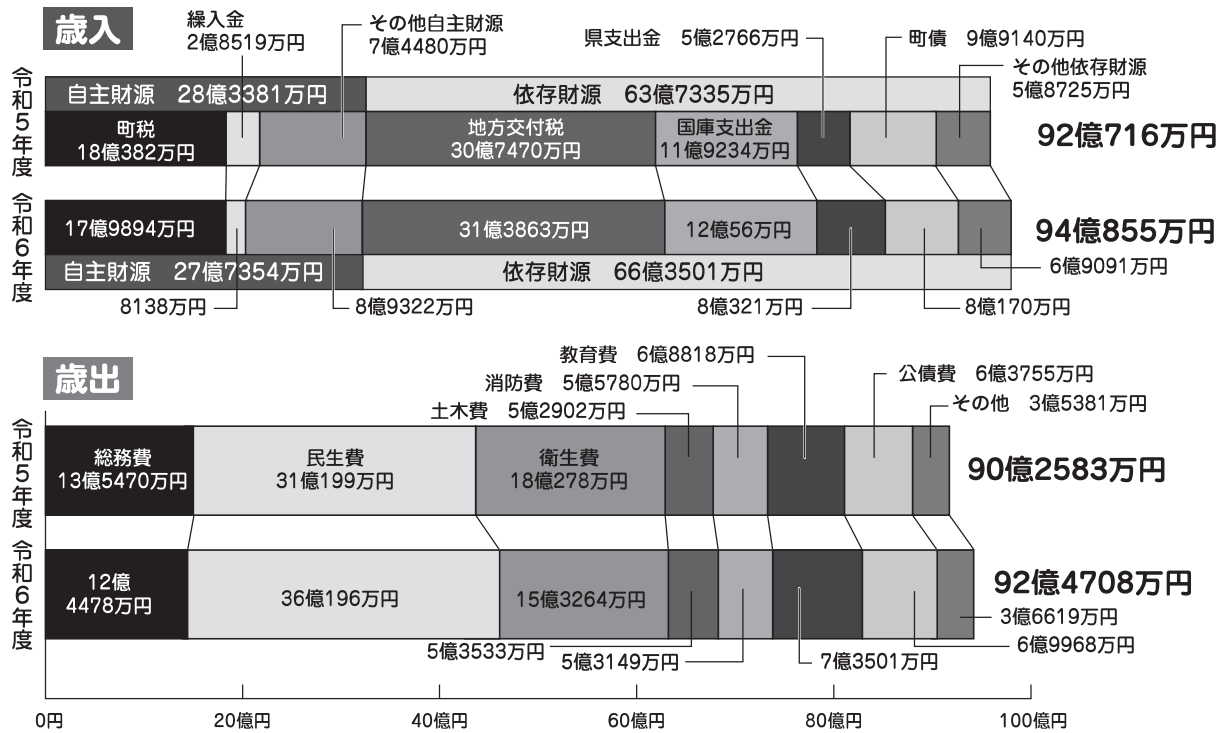
決算報告



令和6年度の決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた町税などでどのような事業が行われたかをお知らせします。

☎ 町役場 企画財務課 ☎0747-52-5517

一般会計決算額前年度比較



令和6年度に実施した主な事業と決算額

町立認定こども園整備事業	6億4421万円
非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	1億5482万円
定額減税調整給付金事業	1億2967万円
道路防災対策事業	7158万円
コミュニティバス、デマンドタクシー運行事業	5724万円
道路補修事業	5694万円
大淀町民応援ギフト券給付事業	5208万円

他会計への繰出金等

①南和広域医療企業団	5億8775万円
②奈良県広域消防組合	4億5933万円
③後期高齢者医療特別会計	3億2601万円
④さくら広域環境衛生組合	3億36万円
⑤介護保険特別会計	2億6668万円
⑥下水道事業会計	2億4000万円
⑦国民健康保険事業特別会計	1億3141万円
⑧南和広域衛生組合	4298万円
⑨水道事業会計	4218万円
⑩病院事業清算特別会計	760万円

決算の概要

大淀町には、一般会計と6つの特別会計があります。令和6年度は一般会計と特別会計を合算すると、歳入が13億3736万円、歳出が13億392万円となり、歳入が歳出を上回りました。

このうち、一般会計は歳入が94億855万円、歳出が92億4708万円となり、歳入から歳出を差し引くと1億6147万円の黒字となりました。

この1億6147万円のうち、4075万円を令和7年度に実施する事業の財源として差し引くと、実質的な収支は1億2072万円の黒字となりました。

歳入の状況

自主財源の合計は27億7354万円、令和5年度と比べ6027万円の減収となりました。主な要因は、繰入金が2億381万円、財産収入が4836万円の減少となったためです。依存財源の合計は66億3501万円、令和5年度と比べ1億6166万円の増加となり

● 特別会計

会計別区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
住宅改修資金等貸付金	742万円	270万円	472万円
国民健康保険事業	19億5272万円	19億4096万円	1176万円
後期高齢者医療	3億 149万円	3億 12万円	137万円
介護保険	18億5557万円	17億9955万円	5602万円
公園墓地事業	379万円	378万円	1万円
病院事業清算	782万円	773万円	9万円

令和6年度特別会計については、全会計で黒字となり、健全な財政状況を維持できました。

差引額に関しては、翌年度に繰り越しおよび各基金に繰り入れを行います。

● 企業会計

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的	5億 472万円	4億9399万円
資本的	2億2914万円	4億2770万円

令和6年度末で、7,970件(量水器取付件数)、1万5,696人に給水を行っています。

建設改良事業では、持尾地内配水管移設工事、薬水・下淵地内配水管耐震化工事、公共下水道事業に伴う新野・越部地内配水管移設工事を施工しました。今後も、経営の効率化と健全化を行い、安全でおいしい水の安定的な供給に努めます。

下水道事業会計

区分	収入	支出
収益的	5億8709万円	5億5561万円
資本的	3億3097万円	5億 637万円

令和6年度末における大淀町の処理区域内人口は1万4,152人、水洗化人口は1万2,350人であり、水洗化戸数は5,297戸となりました。

建設改良事業では、新野・越部地内において汚水管の開削工事を施工しました。今後も、経営の効率化と健全化をさらに推進し、生活環境の向上、公共用水域の水質改善に努めます。

● 各種財政指標

経常収支比率

指標名	決算比率		備考
	令和5年度	令和6年度	
経常収支比率	90.2%	91.7%	100%を超えると財政の硬直化が進んでいるとされています。

健全化判断比率

指標名	決算比率		早期健全化基準	財政再生基準
	令和5年度	令和6年度		
実質公債費比率	7.7%	8.7%	25%	35%
将来負担比率	13.6%	17.7%	350%	—

※「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、令和5年度に引き続き、令和6年度においても該当はありません。

令和6年度では経常収支比率が前年度よりも悪化する結果となりました。この要因は、給与改定による人件費の増加や新ごみ処理施設の操業に伴う補助費等の増加が要因となっており、今後も厳しい財政状況となることが予測され、更なる歳入の確保や歳出の抑制に努めていく必要があります。

また、実質公債費比率や将来負担比率についても、前年度より上昇する結果となりました。大規模事業実施に伴い発行した地方債によるものであり、今後もしばらくは同程度の比率で推移すると予測されます。

基金・町債の現在高

基金(貯金)の令和6年度末の現在高は40億5280万円となり、令和5年度末と比較すると2億304万円の増加となりました。

また、町債(借金)の令和6年度末の現在高は72億9809万円となり、令和5年度末と比較すると1億4725万円の増加となりました。

ふるさと応援寄附の状況

令和6年度に大淀町ふるさと応援寄附金として総額1億75万円(4336件)の寄附をいただきました。また、教育支援センター事業や子育て支援事業など16事業の財源として3225万円を活用させていただきました。

町債(町の借金)は、地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債や道路整備事業、認定子ども園整備事業などの財源として借入れました。

また、主な原因は県支出金が2億7555万円、地方交付税が6393万円の増加となったためです。

ました。主な原因は県支出金が2億7555万円、地方交付税が6393万円の増加となったためです。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた
 社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費

（単位：千円）

項 目 名		事 業 費	財 源 内 訳			
			特 定 財 源		一 般 財 源	う ち 引 上 げ 分 の 地 方 消 費 税
			国 県 支 出 金	そ の 他		
社 会 福 祉	障 害 者 福 祉	632,575	432,439	6,978	193,158	43,624
	高 齢 者 福 祉	97,270	48,574	19,237	29,459	6,653
	児 童 福 祉	100,234	58,283	11,074	30,877	6,973
	母 子 福 祉	14,074	4,048	3	10,023	2,264
	小 計	844,153	543,344	37,292	263,517	59,514
社 会 保 険	介 護 保 険	266,682	17,352	0	249,330	56,310
	国 民 健 康 保 険	131,409	85,650	0	45,759	10,334
	後 期 高 齢 者 医 療	326,007	48,835	0	277,172	62,598
	小 計	724,098	151,837	0	572,261	129,242
保 健 衛 生	医 療	87,158	42,720	3,657	40,781	9,210
	疾 病 予 防 対 策	59,298	404	13,398	45,496	10,275
	小 計	146,456	43,124	17,055	86,277	19,485
合 計		1,714,707	738,305	54,347	922,055	208,241

5. 健全化判断比率等

(単位: %、千円)

区 分	名 称	比率等					基 準 比 率		説 明
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	早期健全化	財政再生	
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-	-	-	-	14.98	20.00	普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
	連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	19.98	30.00	全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
	実質公債費比率	9.2	8.2	7.6	7.7	8.7	25.0	35.0	普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
	将来負担比率	7.0	6.1	9.4	13.6	17.7	350.0	-	普通会計が将来負担すべき実質的な負担の標準財政規模に対する比率
	【参考】	-	-	-	-	-			
【参考】 標準財政規模	4,944,323	5,211,166	5,037,886	4,995,894	5,036,267	-	-	地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の総量(規模)	
資金不足比率	水道事業	-	-	-	-	-	-	-	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率
	病院事業	/	/	/	/	/	-	-	
	下水道事業	-	-	-	-	-	-	-	